

- ▶ 水巻町の地形は主に平野部が占めており、人口私有林が1ha程度と少なく森林経営可能な森林もないため、森林環境譲与税を主に木材利用に充てていく方針。
- ▶ 令和3年度は以下の取組により、木材利用及び普及啓発を行った。
  - 森林環境譲与税を活用して、公立保育所に国産ヒノキ材による本棚を導入することにより、園児と保護者が木と触れ合い、木の良さを理解してもらうための環境を作ることができた。
  - 令和3年度に木製本棚と木製靴箱を導入する予定だったが、木製靴箱は、令和4年度に実施する保育所の改修工事にあわせて導入する。残額は、令和4年度の公立保育所における靴箱の購入及び公園の木製ベンチを新規導入するため、基金に積み立てる。

## □ 事業内容

### 公立保育所木製本棚導入事業

公立保育所の老朽化した木製本棚のリニューアルを行い、国産ヒノキ材の本棚を導入することにより、園児と保護者が木と触れ合い、木材ならではの温かみを広く知ってもらうことで、木材利用の普及啓発を行った。

【事業費】312千円（うち譲与税 312千円）

【実績】本棚4台

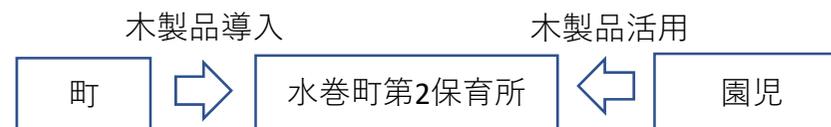


(本棚 A)



(本棚 B)

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

町内の木製品制作グループと連携し、危険な角がない構造や、端の面取りを行い、園児が自分で本を選べるように、絵本の表紙が見え、サイズ違いの絵本が収納しやすいタイプと、背表紙を前にしてたくさん収納できるタイプを導入し、木材利用の普及啓発を図った。

## □ 基礎データ

①令和3年度譲与額	2,407千円
②私有林人工林面積（※1）	1ha
③林野率（※2）	9.7%
④人口（※3）	28,997人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より